

### 5期目への挑戦 今島根県にとって大切なこと

# オール島根で力を結集！持続可能な島根をつくる

県議会議員はくいし恵子の

## 風だより



発行者 島根県議会議員  
はくいし 恵子  
2022年6月23日発行  
拡大版 VOL.32

## （はくいし）事務所

〒690-0882  
松江市大輪町414-12  
TEL・FAX  
0852-23-0880

HPアドレス

http://  
www.hakuishi.  
sakura.ne.jp/



※是非、お立寄りください。

15年前、思いもかけず島根県議会議員という使命を与えられ、無我夢中でその重さに向き合ってきましたが、やればやるほど課題や問題点が目の前に立ち現れ、頑張り続けても追いつかないのが議員という仕事だと思い知りました。特に生涯のテーマである「ジェンダー平等の実現」や島根の大きな課題である「持続可能な島根を創る」ことは、まだ緒についてはかりであり、もっと前へ進めていきたい、そんな思いからこの度5期目への挑戦を決意しました。



### より良い政策は超党派で

今までの活動では、数少ない女性県議会議員として女性の思いや目線を大切に活動してきました。また、党派「民主県民クラブ」の幹事長として他党派との調整に力を入れてきました。県議会は二元代表制ですから、執行部と対峙し県民の側に

立つて意見を言い、より良い政策へと磨きをかけていくには党派を超えなければならぬと思っております。島根県はずっと高齢化と人口減少に苦しんできました。党派を超えて応援し、誕生させた丸山知事は「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を実現しようとされていますが、コロナ禍もあつ

て未だその成果は見えませんが、今しなければならぬのは県議会が丸となつてどうしたら県民の皆さんが島根の良さを実感し、島根を愛する子ども達を育てていくことが出来るか、その課題解決に力を尽くすべきだと思っております。

### 女性が声を挙げられる社会を

女性たちが笑顔で生き生きと、自分らしく生きていける島根を作りたいと願って活動をしてきました。女性が幸せであることは、男性も子どもも高齢

者も県民皆が笑顔になれる島根を作る基礎だと思つたからです。そしてその実現は、平和であることが前提です。今世界はロシアによるウクライナ侵攻が続いており、世界中がとてもしな臭い様子になってきました。平和は守っていかなくては簡単には壊れてしまふ、と改めて思い知らされます。命を産み育てる女性達は心から平和を希求しています。武器をもって戦うのではなく、意見の違う人々や国々と粘り強く対話を重ね、お互いがお互いを尊重する世界を創っていくためにも、もっと女性政治家が増えることを心から願います。

今、私たちが出来ることはウクライナの女性や子ども達に思いをはせ、一日も早く戦闘が収束し平和を取り戻せるよう、全ての子ども達に平和な未来を手渡せるよう声を上げることだと思えます。

### 「はくいし恵子」が5期目に向けて熱く決意を語ります 「県政報告会」

日時／7月20日(水) 18時30分～  
場所／島根県職員会館 多目的ホール(2F) 松江市殿町1・県立武道館西側

- ぜひお越しください
- 【主催】 ○はくいし恵子とともに歩む会
  - はくいし恵子としまねを元気にしようネットワーク
  - 島根県職員連合労働組合

### リーフレットを作成しました！

今後、みなさんのお手元に届けていきます。事務所にも置いてありますので、お気軽にお越しください。

一人ひとりの幸せを大切にします。

島根県議会議員(松江選挙区)

## はくいし 恵子



後援会では、はくいし恵子の勝利を目指して最大の努力をしていますが、みなさまの力添えなくして勝利することはできません。どうか勝利に向けてさらなるご支援、ご協力を心よりお願いいたします。

●これまでに支援をお願いした方への再確認を  
これまでの選挙でご支援をお願いしていただいた方へ、今一度ご支援をお願いして下さいます。

●支援の輪を広げてください  
声かけしていない友人、知人などがあればさらにもう一度声かけをしていただけませんか。

## 「はくいし」勝利に向けてご支援をお願いします

# はくいし恵子の県議会報告



## 5月県議会

一般質問から抜粋  
(5/26~6/21)

## 2月県議会

代表質問から抜粋  
(2/14~3/16)

### コロナ禍で深刻化する人員不足

22年2月議会が、2月14日から3月16日まで開催されました。今議会は、会派代表質問を担いました。大きなテーマを「コロナ禍で見えてきたことをどう生かすか」「コロナ後の島根県の在り方について」として17項目の質問をしました。

質問：コロナ禍で見えてきたことをどう生かすか

(1)検査や入院調整など逼迫する保健所業務や引き続き困難な状況を乗切る対策を伺う。

【知事】県の他部局からの応援、市町村、医療機関の協力をいただき保健所を支援した。また市町村教育委員会や保育所の協力を市町村に要請。県民にもフクチン接種や県外移動に関

し協力を要請している。

(2)非正規雇用が多い女性に経済的困難が集中した。できるだけ正規雇用にしていくことについて考えを伺う。

【知事】企業に対し、様々な奨励金制度で正規職員として働き続けられるよう支援している。またレディース仕事センターでの就職支援、職業訓練校での訓練を行っている。

(3)災害に備え余裕ある保健

医療体制整備が必要だが。

【知事】病床数は将来人口を見込んで見直しをしているが、平時から各医療機関の連携体制を進めている。また、専門人材確保にも引き続き取り組んでいく。保健所は全国的にも設置数、専門人材ともに充実している。

(4)教育現場でICT(情報通信技術)をどう活用するか。

【教育長】ICT活用により捻出した時間で学びを



深める。休校時にはオンラインで朝礼等を行い、つな

### 持続可能な島根のための新たな視点を

#### 新たな視点を

質問：コロナ後の島根県の在り方について

(1)小さな農業を守り、安心な食を子ども達に提供することについて。

【農水部長】有機農産物や美味しまね認証等への取組支援を行う。食料コーデイナーを配置し、給食での活用を図っている。

(2)耕作放棄地をまこも栽培など新しい取組で活用することについて伺う。

【農水部長】様々な取り組みの結果、近年荒廃農地面積は横ばいで推移。マーケットイン(消費者がより

がりを確保していきたい。

#### 新たな視点を

必要としているモノを提供する)の視点での産地づくりの取組を産地創生事業で支援している。

(3)地域の経済・エネルギー政策に「田園回帰1%戦略」の考え方を生かすことは。

【知事】大事な視点だと考える。再生可能エネルギーの導入と理解が進むよう各地でセミナーを開催している。引き続き経済循環を高める取組を支援していく。

(4)ジェンダー平等の推進、多様性のある島根の構築について知事の思いは。

【知事】女性が企業に定着

しない要因に役割分担意識や性差に関する偏見が残っていることも影響していると考えざるを得ない。男性や企業に向けたセミナーの開催などを通し、誰もが多様な価値観を認め合い、自分らしく生き生きと暮らせる地域社会づくりに取り組んでいく。

#### 新たな視点を

(5)教育の魅力化の取組みをどう進め、県内にPRする必要性についてどう考えるか。

【教育長】子ども達が島根の役に立ちたいと思う時の思いを実現するためには周囲の大人たちの理解や支援が必要である。そのため何ができるか、どう伝えるか研究し実施していく。

(6)島根原産の再稼働判断に当たって県民の声をしつ

かり聴く考えはあるか。

#### 新たな視点を

(7)島根の市町村がわがとの良いところを発見し、人とのつながりを生かし、磨きをかけていけるよう後押ししてほしいが。

【知事】様々な媒体を通じて情報発信することで優れたところを県民と共有し、愛着や誇りを持ってもらいたい。そして先事例を参考に市町村を最大限サポートしていきたい。

### 図書館活用教育の推進を

質問：学校司書について

(1)特別支援学校の会計年度司書の時間数の増が必要かどうか。

【教育長】業務改善やワークセンターの活用、教職員との連携をしっかりと整え、勤務時間をより効率よく活用できるように取り組む。その上で各学校の規模や状況、実態を勘案し、総合的に判断する。

(2)司書教諭研修の充実をしてほしいが考えは。

【教育長】現在来年度の司書教諭研修の見直しを進めている。人が変わっても継続して推進されるよう、新しく発令された司書教諭の

必修研修を検討している。

(3)校長の管理職研修で、図書館活用教育について取り上げて欲しい。

【教育長】管理職のリーダーシップのもと学校図書館の活用が進められるよう、研修項目にはないが、チームとして取り組む好事例を紹介していく。

質問：育児休業法改正について

(1)男性の取得率の向上を期待するが「イクボス宣言」をした知事の思いは。

【知事】出産育児は人生の重要なステージ。対象者には背中を押すようなメッセージを伝えていきたい。育児



の負担の分担ではなく、育児に携わることが出来る権利行使をするという感覚が大事だと思つ。

(2)10月からの産後パパ育児について企業の就業規則の改正の周知はどうか。

【女性活躍推進統括官】男性の育児休業取得促進の為此までより柔軟で取得しやすい制度。県としてはセミナーで制度の趣旨や内容の説明を行い、周知を図ってきた。今年度は就業規則

### 女性が働ける環境づくり

質問：女性の県内就職について

(1)県外就職者へのアンケートや女性に人気の企業の研究などをしている。

【商工労働部長】引き続き県内外に就職した若者へのヒアリングなどを実施し、女子学生が魅力を感じるのほどうい企業かを把握し、その結果を企業に伝えていく。

(2)女性のキャリアアップに

で、子供が生まれた後8週間の間に最大4週間取得できる休業制度。まとめて取得する以外に2回に分割しての取得も可能となるなど、改善点が多い。

熱心な企業の誘致についての考えは。

【商工労働部長】県では女性の受け皿としてウェブ編集やマーケティング等専門系事務職場の誘致を進めており、一定の成果を上げている。さらに拡大するため今年度インターネット広告業を認定業種に加え、強化した。女性が魅力を感じる企業の誘致を強化していきたい。

【総務部長】対象者数は多くないし、期末勤続手当が多いので年収では逆転しな

い。これまでの知識、経験を生かせるよう配慮し、後輩にアドバイスする役割を期待している。

(3)同時に制定される制度の高齢者部分休業制は何歳から適用するのか、職員の希望は聞くのか。

【総務部長】高齢職員の多様な働き方のニーズに対応する目的で導入する。利用年齢は条項で定めるが、現在労働組合で実施中のアンケートも参考に検討していく。

# 「オール島根」で 島根に活力を！

を努めてほしいと強く願  
い、5期目への挑戦です。  
どうか支援者のみなさん  
の力の全てをお貸し下さ  
い。

「はくいし恵子」後援会  
を立ち上げて、一緒に歩ん  
で17年目を迎えました。

これまで、福田真理夫、  
岩本久人、小室寿明の3人  
の県議と共に行動し、支え  
てきただけに「はくいし恵  
子」のスタートには未知の  
不安が大きかったことが  
思い出されます。

会期を重ねるたびに成  
長していく姿を見続けて  
きました。視野も広くな  
り、行動力を身につけ、県  
議会での質問も鋭さを増  
してきています。

今、島根に必要なのは  
「滅び続ける田舎を、ふる  
里をよみがえらせること  
」。住みよい活力のある  
島根にするには、県政に、

未来に託す判断と決断が  
必要な時です。  
それには、「オール島根」  
のまとめ役、指導力のある  
県議が求められています。  
「はくいし恵子」にその任  
務を

会長 川上 真人

# 女性の視点で より良い島根を

一人一人が、尊重され、  
自分らしく生きられるこ  
と。福祉や教育、女性や子  
どもたちの支援の現場で、  
たくさんの方たちに寄り  
添い続けたはくいし恵子

さんが、ずっと大切にして  
いる願いです。  
はくいしさんは、その願  
いを、県議会議員として発  
信し、DV被害者支援、図  
書館教育、ひきこもり支援

会長 水野 彰子

# 「はくいし恵子」の 議会での活動力に エールを！



など、ひとつひとつ形にし  
てきました。人を思いやる  
県政のために、私たちは、  
これからもはくいしさん  
を必要としています。

はくいし恵子としまねを  
元気にしようネットワーク

# 地元の要望が 大きく前進

## 大きく前進

浜北台は入居依頼6月  
で満54年を迎えました。

浜北台まちづくり委員  
会は、県営住宅の建て替え  
事業が始まる中、良好な住  
宅環境と団地環境の向上

を図る目的で、浜北台団地  
の新しいまちづくりの組  
織として、以前の組織を再  
編成して、平成27年に自治  
会の中に立ち上げたもの  
です。

その間島根県でも人事  
異動があり、引継ぎが上手  
くなされなかつた為か、突  
如として、新任者より「建  
議書」や今まで検討してき  
た事項は、全く無視した計  
画書が示されました。建替  
えにあたって、元に戻して  
再検討がされなければ、浜  
北台は一切県に協力しな  
い等険悪な状況に陥りま  
した。

幸い白石県議が、県議会  
の建設環境委員長をされ  
ており、地元選出の議員で  
もありましたので、まちづ  
くり委員会メンバーと「語  
る会」を設定しました。

お陰様で今は、「建議書」  
に沿って地元の要望を取  
り入れ、計画作成と工事が  
進められ、新しいまちづく  
りが出来るかと大変喜んで  
います。

ご多忙の中、快く浜北台  
まで足を運んで頂き、経過  
を聞かれ、早速土木部長に

話して頂きました。その後  
白石県議の立会いの下、土  
木部長、建築住宅課長、担  
当者等そろい踏みで、浜北  
台に来ていただき、県の計  
画や対応について土木部  
長から陳謝と撤回があり  
ました。

会長 森山 清文



# 真っ直ぐな思いで 五期目へ

「風だより」いつも拝見  
しております。女性議員の

りに思っています。学生の  
頃と変わらぬ真っ直ぐな  
貴女の五期目の挑戦を陰  
ながら応援致します。

なっているのでしょうか  
：次に繋がる政治と人材  
を育てバトンを渡して下  
さるよう希望し、身体をい  
たわり、今後益々活躍され  
ますようお祈り致します。

E・K

建設環境委員長報告

男女共同参画社会の  
実現に向けて

19年度から20年度、建設環境委員長を務めさせていただきました。女性としてはもちろん、民主県民クラブとしても常任委員会の委員長を務めるのは初めてのことでした。今まで一番知識の乏しかった土木行政について、また委員長職についても2年間でたくさんの経験をさせて頂きました。

各常任委員会では2年間掛けて、テーマを決めて調査し、最後に執行部に対し提言するのですが、1年目は所管する環境生活部内に、男女共同参画室が置かれていましたので、テーマの一つに「男女共同参画社会の実現に向けて」を掲げました。残念ながら、組織改編の為に、1年目の調査し

かできませんでしたが1年間だけでも提言はしたいと思い、20年2月議会の委員長報告に盛り込みました。県内調査では、しまね女性センターに伺い、県との共同で6月の男女共同参画推進月間における啓発活動や地域に向けた講座、学生を対象としたセミナーなどの開催に取り組みされてい



共同参画サポーターが地

域で活動されていますが、その継続にはサポーター同士のチームワークや市町村との連携が重要であることをお聞きしました。またセンターでは、普及啓発の講座や啓発資料の収集・貸出、市町村からの相談対応が行われているとのこと。しかし、建設当初、宿泊研修の為に設けられたホテルを利用しきれっていないという課題も伺いました。

県外調査は、土木部門の調査テーマ「防災減災の島根づくり」との関連も視野に入れ、東日本大震災の被災地である仙台市せんだい男女共同参画センターを選定しました。支援される方も自身も被災して生活もままならな



い中、女性や子どもの困難な状況を改善しようと全国の仲間と協力して乗り越えてこられた取組は大いに学ぶべきものでした。また、地域の女性を対象とした女性リーダー育成プログラムを実施されています。これは震災の経験から地域で女性が自信をもって活動できるようにすることを目的としたプログラムで、この取組により地域の要となる人材との連携が深まり、事業への理解が進んでいました。このような調査結果に基づき、男女共同参画社会の推進について、次のような提言としました。

委員会提言

東日本大震災の被災地では、意思決定の場に普段から女性が参画していません。特に、防災・減災の視点から、市町村防災会議、自治会長やPTA会長など地域や学校の重要な役割について、女性の積極的な参画に取り組むこと。

①政策・方針決定過程への女性の参画促進

あらゆる場面で意思決定の場に女性の参画が実現することが必要である。特に、防災・減災の視点から、市町村防災会議、自治会長やPTA会長など地域や学校の重要な役割について、女性の積極的な参画に取り組むこと。

②市町村との連携強化

男女共同参画を推進するためには、県のみならず、市町村の理解と取り組みが不可欠である。こうした

点を踏まえ、まだ男女共同参画条例を制定されていない市町村への支援、市町村における今後の男女共同参画計画の改訂に向けた情報提供、啓発事業の共同開催など市町村との連携を強化すること

「あすてらす」の機能強化  
県民一人ひとりの理解をさらに深めるため、市町村支援のための専門員の派遣や地域へのきめ細やかな支援、学校教育との連家、研修事業の充実など、拠点施設である男

性共同参画センター「あすてらす」を拠点とした取組をさらに推進していくこと。男女共同参画社会基本法が平成11年に施行されて以降、全国において、女性が社会のあらゆる分野における活動に参画するための取組が進むなか、本県は県民意識、女

性の労働力率などが全国に比べて上位にあることを高く評価したいと考えます。そのうえで、来年度創設される「女性活躍推進課」が県全体の政策を司ることから、SDGsの17の目標のうち5番目の目標である「ジェンダー平等の実現」は、すべての目標の達成に必要な横断的価値があることが県全体で共有され、全ての部局と県民の参画により、男女共同参画が着実に推進されることを期待します。

はくいし恵子 4期目の活動

建設環境委員会の委員長に

(2021年3月まで)

民主県民クラブからは初のポストであり、女性としても県政史上初めて。

- あすてらすフェスティバルでのご挨拶
- サヒメル、小豆原埋没林公園
- 浜田川総合開発事業竣工式
- 主要地方道桜江金城線開通式
- 波積ダム定礎式・斎饗(いみごて)の儀



波積ダム定礎式



桜江金城線開通式

農林水産商工委員会の副委員長に

委員長(田中明美議員)、副委員長が共に女性となるのは、県政史上初めて。

- 全国植樹祭への参加
- 雲南市の豪雨災害で被害調査
- コロナ禍で影響を受けた宿泊・飲食店に聴き取り調査の実施や要請を受ける。



全国植樹祭



雲南市の被害調査

議会で取り上げた  
主な質問

●ジェンダー平等推進関係

・島根県の女性転出割合が高いことの分析及び対策

・女性に特化したUターン施策、女性に魅力的と思われる企業の誘致

・産休育休のない女性個人事業主への支援

・県職員男性の育児休業取得率の向上を県の女性管理職増

●教育の魅力化、改革の推進

・学校図書館活用教育の推進

・司書教諭への研修の充実

●県職場について

・職員の見直し
- ・職員の定員増
- ・定年引き上げ制度
- ・ハラスメント対策
- ・会計年度任用職員の処遇改善

●子育てについて

・障がい者、医療的ケア児など困難を抱える方々への支援

・シングルマザー支援強化

・児童虐待防止の推進

・ヤングケアラー(家族の介護等を担う子ども)の支援